

2022（令和4）年度 マリヤこども園学校評価実施要項

2022年4月1日制定

【目的】

- 学校（こども園）として組織的・継続的な改善を図ること
- 学校（こども園）・家庭・地域の連家協力による園づくりを進めること
- 一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること

【評価】

- ① 自己評価は、当こども園の多職種（保育教諭、栄養士、看護師、事務職員、一時預かり専任者等）によって行い、設定した目標や計画に照らし、その目標の達成状況や取組の状況について評価を行う
- ② 学校評価関係者評価は、マリヤこども園に在籍する園児の保護者代表と地域住民及び姉妹法人の園長等が自己評価の結果に基づき、評価と助言を行う
- ③ 5年ごとに外部の専門家を中心とした第三者評価を実施し、専門的視点からの評価を受ける

【評価時期】

教職員による自己評価	年1回	11月に通知し、一月に実施
評価委員による評価	年1回	11月に通知し、一月に実施
第三者評価	5年ごとに1回	2012年/2017年/2022年

【公表】

学校評価の結果について、保護者及び地域住民にHPを通じて公表する。尚、公表時期については、実施した翌月とする。

【評価委員とその任期】

自己評価者

太田礼子園長、岩崎千佳子主幹保育教諭、千葉佳奈子主幹保育教諭、西村奈美保育教諭、高橋咲帆保育教諭、庄子未恵保育教諭、本橋聡子保育教諭、吉村瑞穂栄養士、菊地寛子看護師、岩崎知美事務員、西尾ゆき保育教諭（一時預かり専任）

評価委員

(1) マリヤこども園に通園する園児の保護者	保護者会会長 保護者会副会長	黒崎 玲子 阿保 里恵
(2) 地域関係者	民生委員 民生委員	山野 洋司 鈴木 寛昌
(3) 当園以外の職員	千葉県千葉特別支援学校教諭 学校法人堀口学園 昭苑こども園園長	熊崎 友希 堀口 義也
(4) その他、園が必要と認めたもの		

評価委員の任期は委嘱の日から当該年度末とし、再任を妨げない。

2022年度の教育活動等に対する学校評価書

1. 保育の方針と目標

全ての人は例外なしに、「神によって創造された存在である」という理解に立って、神を愛し、自然を愛し、人間を尊ぶことが人間性の基礎であることの視点に立ち、以下のように基本方針を定め、これを実践し、具体化するために、乳幼児一人ひとりの主体性（自立性・自立心・自律性）を重んじ、社会性の芽生え（協調性・連帯性・責任意識）を育て、個性が伸びる創造性（興味・集中力・探求心）のある子どもを育成することを目標とする。

<基本方針>

1. 心の清い正直な人間（良心教育）
2. 心の豊かな明るい人間（情操教育）
3. 体の丈夫な強い人間（健康教育）
4. 動作の機敏な人間（安全教育）

2. 2022年度の重点課題

1. 質の高い保育に向けて保育の共通理解に努める
2. 現場職員の勤務環境の見直し
3. Withコロナでの情報発信の工夫（保護者とのお子様の成長の共有）
4. 地域のニーズに即した広場の充実を図る

3. 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

（※評価はA(80%) B (70%) C (60%) D (やっではみたが成果としては50%) E (全く手つかず) で表している

〔学校評価取組の目的〕

- 学校（こども園）として組織的・継続的な改善を図ること
- 学校（こども園）・家庭・地域の連携協力による園作りを進めること
- 一定水準教育の質を保証し、その向上を図ること

〔評価〕

- ① 自己評価は、当こども園の他職種によって（保育教諭、栄養士、看護師、事務職員、一時預かり専任者等）行い、設定した目標や計画に照らし、その目標の達成状況や取り組みの状況について評価を行う。
- ② 学校評価関係者評価はマリアこども園に在籍する園児の保護者代表と姉妹園の園長他、地域住民等が自己評価の結果に基づき、評価と助言を行う
評価委員（民生委員：山野洋司、民生委員：鈴木寛昌、保護者会会長：黒崎玲子、保護者会副会長：阿保理恵、千葉県千葉特別支援学校教諭：熊崎友希、姉妹法人昭苑こども園園長：堀口義也）

※ 2023年1月13日 内部自己評価実施、2023年1月29日学校関係者評価実施

評価項目	具体的な取り組み	自己評価					学校関係者評価委員会						
		評価					評価						
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E		
の 向 上	職員各自が自己目標を明確にし、定期的に振り返りの時を持つとともに面談を通して時期目標を定めていく	6	4	1			・立てた目標に対して、定期的に振り返りができて達成するための客観的助言もあり、とても良いと思います。 ・面談ができていない職員もいるのででもれなく行っていく ・面談はもちろんのこと、通常の会話の中でも対話を重ねれば重ねるほど目標が見えてくる。 ・各自の不安や悩みに向き合ってくれているので、次へのステップにつながっていると感じている。	6					・意識が高く素晴らしいです！ ・細かな配慮が感じられた ・園長先生が職員に丁寧に対応していて素晴らしいと思います。
	職種を超えた職員間の連携を図り、子どもを中心とした職員集団となる。 資料②	3	7	1			・自然に他職種が交わるような雰囲気は少ないが、日に日に増えているように感じる。 ・中には「職種を超えた」＝「他職種の仕事のお手伝い」と意味を取り違えている職員がいるように感じる時がある ・LINEworks、ホワイトボード活用によって園全体に連絡が届くようになり、職員全員が把握できるようになった。 ・今までよりもステップアップしている気がする。 ・クラス発信したことをどこの部署も快く協力を受け入れる体制ができてきたと思う。 ※互いの仕事を尊重しながら、子どものために何ができるかを一緒に考えていく場が必要であり、それぞれの意見に耳を傾けていく姿勢が大切。→場づくり、風土づくりを強固にしていく。	4	2				・ボードによる可視化は素晴らしい取り組みで分かりやすいです。とても素晴らしいのにBが多いのは、上を目指しているからでしょうか ※「協力」＝「連携」にはならないので、それぞれの立場での視点や情報を共有しつつ、お互いの意見をすり合わせて、より良い方向に向かって進んでいけると良いと思います。 ・アプリの活用がとても効果的で素晴らしいと思います。 ・行事で園の様子を拝見するにあたり、全ての職員の方々が子ども達に親身に関わって下さっている様子がわかり、ありがたい限りです。
	子どもの園での様子を可視化し、より園での様子や子どもの育ちをわかりやすくする	7	3	1			・Instagramの活用で可視化されている ・カリキュラムでの可視化も図っている ・Instagramが発信できずにいる時期も多いので、改善していく ・送迎時は声掛けをしたりするが、バタバタしてしまうため、落ち着いて話すことができないので、特に伝えたいときには意識的にコミュニケーションを図るようにしている。 ・クラスによりムラがあるのが現状。ツールの利用はとても良いので、保護者との対話に時間を惜しまず、時間の許す限りで関わるとより良い	4	2				・情報公開は保護者の方々も嬉しいし、とても楽しみにしていると思うので大変ですが、継続をしてください。 ・Instagramとても良いです ※保護者同士で話ができるだけで「自分だけではなかった」「そういう考え方、対応があったのか」など、気持ちのゆとりを持てるきっかけにもなるのでとても良いと思います。 ・可視化するために仕事が増える（負担）にならないようにするのが難しいですね。 ・様々な場面で感じ取ることができています。 ※何を可視化し、何を伝えるのか、写真だけでなく、適切な言語化で伝えることが次の課題かと思っています。
行事のアンケートや個人面談等で保護者の思いを確認するとともに、保護者と共に子どもの成長を喜び合いながら育児支援を行う。 保護者のニーズを吸い上げ、今後活かす	6	5				・アンケートが戻ってくるので、保護者の思いを感じることができています。 ・保護者との会話が弾みきっかけになってうれしい ・アンケートをもとに、次への課題や対応策についても検討できている ・保護者のニーズを吸い上げる努力はできているので、保育者のみの視点にならないで、多角的に対応できるようにしていく。	6					・保護者の方の意見もどんどん取り入れられるといいですね ・園のためになっているので良いと思う。そしてそれが結果、子どもに返ってくるので、今後も継続してほしい。 ・保護者アンケートの活用ができて、対話やニーズ把握ができていて素晴らしいです。	

保護者との連携と

評価項目	具体的な取り組み	自己評価					学校関係者評価委員会									
		評価					評価									
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E					
育児支援	子どもの様子はもちろんのこと、保護者同士のつながりが持てるような機会を設けていく	6	3	1	1						6					<ul style="list-style-type: none"> ※コロナによる人と人との交流が減り、不安になっている保護者の方々の橋渡しは皆さんとても救われたのではないのでしょうか。素晴らしいです！ ・乳児組はなかなか子ども同士の名前が覚えられないし、子どもはわかって親の顔も名前もわからない人がいるが、今回行事参加をすることで、知り合いが増えて良かった。 ・保護者も仕事をしている中で、このような場を持つていくのは大変だと思いますが、参加ができるということは日頃の様子が見られていいと思うので、継続してほしい。 ・積極的な取り組みをされている様子がよくわかり、保護者として心地よく参加させていただくことができています。 ※保護者に対し、子育てを人任せにせず、しっかりと向き合い、関わることを伝え、その機会を提供することが親の育ちにつながると思います。
組織運営	<p>十分な休息をとり、仕事とのバランスが取れる職場環境を作る。（職員の休憩時間を確保する）</p> <p>資料②</p>	6	2	3							4	2				<ul style="list-style-type: none"> ・どの職種、どの職場も同じですね。若い方、新しい方々のケア、古い方は意識改革が必要で、今は丁度過渡期ですね。 職員の確保が必要ですね。 ・ワークライフバランスの重要性 ※子どもがずっといる環境の中で、自分の仕事、クラスの仕事、全体の仕事と沢山の業務があるので、すべてを勤務時間内に終わらせるのは難しいと思う。仕事を増やすことは簡単だが、いけないこと、削れること、簡略できることをどんどん見つけて実行していくことができれば良いと思います。 ・先生方の忙しさは、常に心配されることです。職員数が増加することを期待し、職員の皆さんで手が回らない時には、保護者役員等いつでも手伝いを求めて良いと思います。 ※収支バランスを見ながら、人材確保に努め、余裕のある人員配置の中で働きやすい環境づくりをしていくように頑張ってください。
	効率よく事務業務作業や書類整理を行い、勤務時間内で仕事が終わられるようにする	5	2	2	1	1						3	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ・Eの人がまだ1名いるので課題が残りますね。 ・ミーティングとケアが必要なのではないのでしょうか。 ・職員確保ができれば職員の皆さんの負担が軽減するのではないのでしょうか。 ※仕事に優先順位をつけて、馬う業務をこなしていくことが難しい人もいると思うが、それを他の人がフォローするばかりでは前者が成長しないと思う。個人のため、全体のためにもスキルを上げるために、周囲が教えていくことも必要だと思います。教えないとできない人が増えていることも感じる時世ですので、なかなか難しいですが頑張ってください。 ：サービス残業が減るように、様々な取り組みがされていて素晴らしいと思います。 ※行事の在り方を再考し、職員の負担軽減をしてください。

評価項目	具体的な取り組み	自己評価					学校関係者評価委員会						
		評価					評価						
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E		
地域への取組	社会福祉法人としての公的な取り組みについて。 園庭開放「ぼっけ広場」 小学生の居場所づくり「虹の広場」 プレ保育「小鳩ルーム」 地域交流枠を広げる 資料③	9	2				<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員の工夫が素晴らしく、リピーターが多くなった ・学校が合併となった1年目だったので、試行錯誤ではあったが、低学年のニーズはやはり高いと思うので継続していく ・感染症の有無などもあり、積極的に取り入れられない場面もあったが、リピーター保護者とは連絡を取り、協力し合いながら行っている。 ・内容が充実した ・地域のニーズにこたえるべく、しっかりと力を入れることができた。 ・来園した親子の喜んでいる表情を見ると嬉しいし、貢献できていると実感することができる。 ・この活動の必要性を感じることで、担当職員だけの仕事という意識ではなく、全職員が意識して取り組むようになってきた ・未就園児の保護者の居場所づくりも広がりが見られ充実してきていると感じる。 	6					<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい取り組みだと思います！ ・さらに活動が拡大することを願います。できることがあれば協力します！ ※「質」の向上も大切ですが、「継続する」ということもまた大切なことだともいます。今年度の活動はとても充実していたし、現状維持でまず続けて行きながら、物足りなさや、少し余裕ができてきたらまた高みを目指して、より良いものにしていければいいと思います。 ・2022年度講師としても参加させていただきましたが、先生方の工夫が素晴らしく、参加者の皆さんがとても喜んで活動されている様子が素晴らしいと思いました。輪が広がると良いですね。 ※イベントの工夫や、リピーターとのつながりを継続している点がとても素晴らしいと思います。